

公立紀南病院組合 改革プラン

平成21年3月

公立紀南病院組合

目 次

I	公立紀南病院組合改革プラン策定について	1
1.	改革プラン策定についての趣旨	1
2.	計画期間	1
3.	計画目標	1
4.	病院の現状	1
(1)	社会保険紀南病院	1
・	病床数	1
・	診療科目	1
・	職員数	1
・	基本理念	1
・	基本方針	2
・	経営データの推移	2
(2)	紀南こころの医療センター	2
・	病床数	2
・	診療科目	2
・	職員数	2
・	基本理念	2
・	基本方針	2
・	経営データの推移	3
II	公立病院として今後果たすべき役割	3
1.	病院概要	3
2.	公立紀南病院組合の果たすべき役割	3
(1)	社会保険紀南病院の役割	3
・	求められる機能の内訳	4
(2)	紀南こころの医療センターの役割	5
・	求められる機能の内訳	5
III	一般会計における経費負担の考え方	6
1.	一般会計による経費負担の基本的な考え方	6
2.	繰出基準分〔20年度実績〕	6
3.	繰出基準外分〔20年度実績〕	6
IV	経営効率化に係る計画	7
1.	経常収支比率100%と経常黒字化の目標達成年度	7
2.	財務に係る数値目標	7
3.	医療機能に係る数値目標	7
4.	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	8
(1)	民間的経営手法の導入	8
(2)	事業規模・形態の見直し	8
(3)	経費削減・抑制対策	8
(4)	収入増加・確保対策	8

(5) その他	8
(6) 病床数等の抜本的見直し、施設の増改築の状況	8
5. 収支計画	8
V 再編・ネットワーク化に係る計画	9
1. 二次保健医療圏の現況	9
(1) 田辺保健医療圏の概要	9
(2) 二次保健医療圏地図	9
(3) 田辺保健医療圏内の医療施設の状況	10
2. 和歌山県医療計画等における今後の方向性	10
3. 社会保険紀南病院と地域医療機関との連携	10
(1) 地域の民間医療機関との連携	10
(2) 南和歌山医療センターとの連携	10
(3) 国保すさみ病院との連携	10
VI 経営形態見直しに係る計画	11
1. 経営形態見直しの必要性	11
2. 経営形態見直しに係る選択肢	11
3. 公立紀南病院組合病院事業における経営形態見直しの方向性	11
VII 改革プランの進捗状況の点検・評価・公表等	12
1. 点検・評価・公表等の体制	12
2. 点検評価の時期	12
別表 1 救急自動車搬送状況	13
別表 2 ドクターヘリ等による搬送状況	13
別表 3 時間外・休日の患者受入れ状況	13
別表 4 周産期医療	13
別表 5 分娩件数	13
別表 6 公立紀南病院組合収支計画（収益的収支）	14
別表 7 公立紀南病院組合収支計画（資本的収支）	15
別表 8 社会保険紀南病院収支計画（収益的収支）	16
別表 9 社会保険紀南病院収支計画（資本的収支）	17
別表 10 紀南こころの医療センター収支計画（収益的収支）	18
別表 11 紀南こころの医療センター収支計画（資本的収支）	19

1 公立紀南病院組合改革プラン策定について

1. 改革プラン策定についての趣旨

公立病院の役割は良質で公平・公正な医療を効率的に提供し、地域医療全体の質を向上させ、地域住民の医療に対する安心・信頼を確保するところにあります。

公立紀南病院組合は、地域における長い歴史と沿革のもと、地域住民の生命と健康を守るため、専門性の向上を図りながら、田辺保健医療圏の基幹的な医療機関として地域に適切な医療サービスを安定的に提供するという役割を担ってきました。

今後も、公立紀南病院組合が経営管理する二つの病院が地域の基幹病院、公立病院としての役割と使命を果たすためには、病院経営の基盤を確立し、効率的な運営を目指し、改革に取り組む必要があります。

今回、「経済財政改革の基本方針2007」を踏まえた「公立病院改革ガイドライン」が示されたことにより、医療の動向を踏まえ、病院の活性化と良質な医療の提供を継続するための取組として、「計画目標」「基本理念」「基本方針」を基本に、「公立病院改革ガイドライン」に沿った「公立紀南病院組合改革プラン」を策定しました。

2. 計画期間

○計画期間：平成21年度から平成25年度まで

改革プランは、対象期間を平成21年度から平成25年度までの5年間とし、公立紀南病院組合が経営管理する2つの病院を対象としています。

3. 計画目標

- 患者サービスの向上
- 良質な医療サービスの安定的提供
- 健全な経営基盤の確立

4. 病院の現状

(1) 社会保険紀南病院 所在地：田辺市新庄町46番地の70

○病床数 許可病床数 356床（一般352床、感染症4床）

○診療科目 内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科
心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科眼科、耳鼻いんこう科
麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、*呼吸器外科
*精神科、*神経科 *は休診中の診療科

○職員数	医 師	65名	(15名)	看 護 師	337名	(16名)
	医療技術職	65名	(10名)	准看護師	27名	(21名)
	事務職	33名	(35名)	技能労務職	19名	(42名)
	合 計	546名	(139名)			

()内は嘱託・臨時職員の外数

○基本理念

私達は、患者さまに優しさを持って接し、皆さまから信頼される医療を目指します

1. 患者さまの人間性を尊重し、思いやりと奉仕の精神で医療に努めます。
2. 職員の教育・研修に努め、質の高い医療を提供し、地域中核病院としての役割を果たします。
3. 開かれた病院として、地域住民や医療、保健、福祉関係者の研修と生涯教育の充実に努めます。
4. 救急医療・災害時医療の充実に努めます。
5. 効率的な管理運営を行い、健全経営に努めます。

○基本方針

<p>地域医療全体の質の向上という観点から、公立紀南病院組合が果たすべき役割を着実に担っていくとともに、徹底した経営改善に取り組み、良質な医療の効率的な提供を目指します</p> <p>1. 地域住民が、質・量ともに充実した医療を安心して受けられるよう、地域に必要とされる医療の中心的な担い手としての役割に加え、地域医療全体の質向上に資するための先導的な役割を果たしていきます。</p> <p>2. 病院経営に関する権限と責任の明確化を図り、徹底した経営改善に取り組むとともに自立した経営を目指します。</p>
--

○経営データの推移

一般病床	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
職員数(正職員)	481人	484人	494人	501人	531人
(うち医師数)	(57人)	(59人)	(62人)	(62人)	(62人)
一日平均入院患者数	301人	299人	309人	318人	315人
一日平均外来患者数	856人	841人	721人	805人	685人
病床利用率	87.5%	86.9%	87.0%	89.2%	88.5%
平均在院日数	17.6日	17.6日	14.7日	12.5日	11.9日

※H17年5月の新病院開院より病床数を344床から356床に増床

(2) 紀南こころの医療センター 所在地：田辺市たきない町25番1号

○病床数 許可病床数 254床 (精神254床)

○診療科目 精神科、神経科

○職員数	医師	7名 (3名)	看護師	83名 (3名)
	医療技術職	12名 (4名)	准看護師	20名 (4名)
	事務職	4名 (5名)	技能労務職	6名 (31名)
	合計	132名 (50名)		

()内は嘱託・臨時職員の外数

○基本理念

<p>やさしさをもって、信頼と満足の得られる医療を行います</p> <p>1. 一人ひとりの患者様の人間性を尊重し、思いやりと奉仕の精神で医療を行います。</p> <p>2. 地域における精神医療の中核としての自覚を持ち、常に質の高い医療を提供します。</p> <p>3. 保健・福祉の分野と協調しながら、精神医療に関する諸課題の解決に努めます。</p> <p>4. 精神保健・福祉の分野の専門職の教育研修や地域の啓発活動に努め、地域の人々の精神保健の向上に努めます。</p>
--

○基本方針

<p>1. 精神保健福祉法およびインフォームドコンセント(説明にもとづく同意)にもとづき、患者様の人権を尊重した医療を行います。</p> <p>2. 紀南地方の地域の要請に応え、精神医療全般を行うとともに、精神科救急の基幹病院および精神科応急入院指定病院としての役割を果たします。</p> <p>3. 精神障害者の地域生活を支援するために、地域の医療機関・行政・福祉施設・自助グループ等との連携を図ります。</p>

○経営データの推移

精神病床	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
職員数(正職員)	159人	164人	156人	153人	135人
(うち医師数)	(9人)	(8人)	(8人)	(8人)	(7人)
一日平均入院患者数	279人	270人	256人	231人	209人
一日平均外来患者数	188人	183人	178人	111人	175人
病床利用率	89.6%	86.6%	81.9%	74.0%	82.3%
平均在院日数	434.2日	473.4日	357.9日	320.5日	236.5日

※H19年度に病床数を312床から254床に減床

II 公立病院として今後果たすべき役割

1. 病院概要

区分	社会保険紀南病院	紀南こころの医療センター
開設年月日	昭和20年12月19日	昭和31年5月19日
所在地	田辺市新庄町46番地の70	田辺市たきない町25番1号
診療科 (休診中の診療科を除く)	内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科	精神科、神経科
病床数	一般	352床 (NICU6床・ICU8床)
	感染症	4床
	精神	254床
看護配置基準	7対1	15対1
指定医療機関等	救急告示病院 災害拠点病院 第二種感染症指定病院 へき地医療拠点病院 地域周産期母子医療センター 地域がん診療連携拠点病院 管理型臨床研修指定病院(医科) 単独型臨床研修指定病院(歯科) 日本医療機能評価機構認定病院 (一般病院種別B)	精神科救急基幹病院 精神科応急入院指定病院 協力型臨床研修指定病院 日本医療機能評価機構認定病院 (精神病院種別A)

2. 公立紀南病院組合の果たすべき役割

(1) 社会保険紀南病院の役割

社会保険紀南病院は、災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等の指定を受け、田辺保健医療圏域での3次救急を含む急性期医療を担い、地域住民の疾病予防、健康増進の拠点として集団検診や公衆衛生活動、健康講座の開催を通じて地域の保健衛生活動の推進、過疎地の一般医療などにも寄与しています。

今後も地域の医療機関との密接な連携を保ち、地域で最大の病床数と診療科数、高度な放射線・検査機器、手厚い看護体制など充実した医療機能を生かし、田辺保健医療圏域の中心的な役割を担う病院として安全で良質な医療の提供に努めていきます。

また、臨床研修指定病院として引き続き研修医の確保に努めます。

○求められる機能の内訳

求められる機能	実施項目
①過疎地等における一般医療の提供	<p>派遣医療機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田辺市秋津川診療所 (週2回 内科・外科) ・田辺市上芳養診療所 (週2回 内科) ・田辺市本宮さくら診療所 (週2回 整形外科、週1回 内科) ・国保古座川病院 (週1回 小児科) ・新宮市立医療センター (週1回 耳鼻咽喉科) ・国保串本病院 (月2回 心臓血管外科)
②救急・小児救急・周産期・災害などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	<p>1.救急・小児救急</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療圏内の救急搬送のうち40%近くを受入れ (別表1) P.13 ・ドクターヘリ等による救急患者受入れ (別表2) ” ・洋上救急の受入れ、訓練の実施 (別表2) ” ・新生児搬送用車両の運行受託 (別表2) ” ・時間外、休日救急患者の24時間受入れ (別表3) ” <p>2.周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NICU6床稼動 (別表4) P.13 ・地域周産期母子医療センター指定 (別表5) ” <p>3.災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害拠点病院の指定 ・災害対応訓練の実施 (H18年度、H19年度、20年度) ・災害派遣医療チーム設立・研修参加 (H19年度、H20年度) ・非常食、飲料水の備蓄 (2日分) ・薬品の備蓄 (2日分)、災害時の供給体制の確保
③研修の実施を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能	<p>1.臨床研修病院指定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理型臨床研修指定病院 (医科) 定員6名 ・単独型臨床研修指定病院 (歯科) 定員1名 <p>2.初期臨床研修医の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H18年度 (医科) 6名 (歯科) 1名 ・H19年度 (医科) 6名 (歯科) 1名 ・H20年度 (医科) 6名 (歯科) 1名 <p>3.医師派遣実績 (H20年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健担当保健師研修会、子宮頸がん集団検診 (田辺保健所) ・小中学校耳鼻科健診 (みなべ町教育委員会) ・新入児児童眼科検診、学童心臓、耳鼻科、眼科検診 (田辺市教育委員会) ・美山学校保健委員会研修会 (美山学校保健委員会) ・身障者厚生相談 (県子ども・障害者相談センター) ・老人基本健康診査診療、事後指導 (田辺市) ・健康診査 (田辺市、白浜町、すさみ町) ・予防接種 (田辺市、白浜町、上富田町)

(2) 紀南こころの医療センターの役割

田辺保健医療圏域内で唯一の精神科病院として精神障害者の地域生活支援と長期在院患者の自立生活支援を含め、精神科医療全般を担っています。

また、和歌山県精神科救急医療システム整備事業の中で精神科応急入院指定病院及び精神科救急医療施設として指定を受け、24時間体制で精神科救急患者に対応しています。

今後は精神障害者の入院・通院治療と救急医療をさらに充実させるとともに、社会復帰施設への転出等、施設との連携を深め、精神障害者の社会復帰についても支援を継続していきます。

○求められる機能の内訳

求められる機能	実施項目
①精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	1.精神医療 ・精神科救急基幹病院、精神科応急入院指定病院（別表3） P.13 ・精神科訪問看護 ・精神科デイ・ケア、ショート・ケア
②研修の協力施設としての機能	1.臨床研修病院指定 ・協力型臨床研修指定病院（精神）

Ⅲ 一般会計における経費負担の考え方

1. 一般会計による経費負担の基本的な考え方

構成団体の一般会計からの病院事業への経費負担については「地方公営企業繰出金について（総務省自治財政局通知）」に基づいた繰入を原則としていますが、一部事務組合の特殊性から、一部事務組合運営経費や建設改良のうち病院新築移転に係る企業債償還元利については「公立紀南病院組合同規約」で独自の規定を加えています。

2. 繰出基準分（20年度実績）

（1）建設改良に要する経費（普通交付税算定基準を参考）

○建設改良（建設改良に係る企業債及び国庫（県）補助金等の特定財源を除く額の2分の1）

・ 1,755 千円 病床割分 482 千円×病床数（664 床）の内数として算定

○企業債元利償還金（企業債元利償還の2分の1、14年度分以前は3分の2）

・ 835,599 千円 普通交付税の企業債元利償還×1/2×0.45（H14年度分以前は2/3×0.6）
病床割分 482 千円×病床数（664 床）の内数として算定

（2）研究研修等に要する経費（普通交付税算定基準を参考）

・ 225,622 千円 病床割分 482 千円×病床数（664 床）の内数として算定

（3）看護師養成所の運営に要する経費（普通交付税算定基準を参考）

・ 53,295 千円 627 千円×生徒数（85 名）

（4）精神病院の運営に要する経費（特別交付税の算定基準を参考）

・ 113,030 千円 445 千円×病床数（254 床）

（5）救急医療の確保に要する経費（特別交付税の算定基準を参考）

・ 44,200 千円 救急告示病院（Aランク） ・ 5,460 千円 小児救急医療提供病院

（6）小児医療に要する経費（特別交付税の算定基準を参考）

・ 25,866 千円 958 千円×小児専門病床数（27 床）

（7）周産期医療に要する経費（特別交付税の算定基準を参考）

・ 14,628 千円 2,438 千円×周産期病床数（6 床）

（8）共済追加費用の負担に要する経費（特別交付税の算定基準を参考）

・ 21,001 千円 87 千円×（H19年度末職員数－S37年度末職員数×1.1）

（9）基礎年金拠出金の公的負担に要する経費（特別交付税の算定基準を参考）

・ 16,199 千円

（10）公立病院改革プラン関係経費（特別交付税の算定基準を参考） ・ 2,000 千円

3. 繰出基準外分（20年度実績）

（1）一部事務組合の運営に要する経費（統轄管理費として） ・ 24,000 千円

（2）建設改良に要する経費のうち社会保険紀南病院移築分と紀南こころの医療センター移築分に係る企業債償還元利

・ 513,479 千円 社会保険紀南病院移築企業債元利償還金の2分の1及び3分の1

・ 36,990 千円 紀南こころの医療センター移築企業債元利償還金の3分の1

Ⅳ 経営効率化に係る計画

1. 経常収支比率100%と経常黒字化の目標達成年度

平成23年度

2. 財務に係る数値目標

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
公立紀南病院組合	経常収支比率	93.9%	93.0%	94.7%	97.5%	100.3%	
	職員給与費比率(※)	59.2%	59.8%	59.4%	60.2%	60.1%	
	病床利用率(全体)	85.9%	87.4%	89.5%	89.5%	89.5%	(610床)
	病床利用率(うち一般)	89.5%	90.3%	91.2%	91.2%	91.2%	(352床)
	病床利用率(精神)	82.3%	84.6%	88.6%	88.6%	88.6%	(254床)
	材料費比率(※)	26.0%	25.8%	24.9%	24.1%	24.2%	
	薬品費比率(※)	12.8%	13.3%	12.4%	13.0%	13.0%	
医業収支比率	90.2%	89.9%	91.8%	93.4%	96.4%		
社会保険紀南病院	経常収支比率	92.6%	92.0%	93.5%	96.0%	99.2%	
	職員給与費比率(※)	55.4%	56.2%	56.0%	57.2%	57.1%	
	病床利用率(全体)	88.5%	89.3%	90.2%	90.2%	90.2%	(356床)
	病床利用率(うち一般)	89.5%	90.3%	91.2%	91.2%	91.2%	(352床)
	材料費比率(※)	27.0%	26.6%	25.8%	25.3%	25.3%	
	薬品費比率(※)	12.1%	12.5%	11.6%	12.2%	12.2%	
	医業収支比率	91.5%	91.2%	93.0%	94.3%	97.9%	
平均在院日数	11.9日	12.5日	13.0日	13.0日	13.0日		
医療センター	経常収支比率	100.5%	98.5%	101.2%	105.3%	105.7%	
	職員給与費比率(※)	81.2%	79.8%	78.4%	77.1%	76.6%	
	病床利用率(精神)	82.3%	84.6%	88.6%	88.6%	88.6%	(254床)
	材料費比率(※)	20.3%	21.5%	20.3%	17.9%	17.9%	
	薬品費比率(※)	16.3%	17.4%	16.3%	17.4%	17.4%	
	医業収支比率	83.4%	83.3%	85.4%	88.7%	89.1%	

(※)は対医業収益比率

3. 医療機能に係る数値目標

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
社会保険紀南病院	地域医療支援病院紹介率	52.3%	53.8%	55.3%	56.8%	58.3%
	逆紹介率	41.0%	40.1%	60.0%	60.0%	60.0%
	手術室における手術件数	4,391件	4,350件	4,400件	4,400件	4,400件
	うち全麻件数	1,574件	1,550件	1,600件	1,600件	1,600件
	救急患者数	11,750人	11,000人	11,000人	11,000人	11,000人
	うち救急車による搬送分	2,497人	2,400人	2,500人	2,500人	2,500人
	患者1日1人当たり入院収益	50,643円	50,500円	51,500円	52,000円	52,000円
	患者1日1人当たり外来収益	11,495円	12,200円	12,500円	12,200円	12,200円
医療センター	年延入院患者数	76,472人	78,475人	82,125人	82,125人	82,350人
	年延外来患者数	42,992人	42,768人	44,770人	42,525人	42,525人
	救急患者数	865人	800人	800人	800人	800人
	うち救急車による搬送分	121人	126人	126人	126人	126人
	患者1日1人当たり入院収益	13,167円	13,200円	13,400円	13,200円	13,200円
	患者1日1人当たり外来収益	9,983円	10,750円	10,800円	11,000円	11,000円

4. 数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期

(1) 民間的経営手法の導入

○原価管理システムを導入し、診療科別原価、疾患別原価を的確に把握することにより経営分析を行い、病院経営を強化する重要な手段とします。

平成21年度

○紀南こころの医療センターの医事業務・患者給食業務・清掃業務・施設管理業務の委託化の検討を進めます。

平成21年度

(2) 事業規模・形態の見直し

○現在の社会保険紀南病院356床、紀南こころの医療センター254床を維持し、事業形態についても、現在の一部事務組合での事業継続を行っていきます。

長期的には、紀南こころの医療センターにおいては、在院患者の高齢化による将来の退院患者増を補う新たな入院患者が見込めない場合、事業規模（病床数）の縮小も考えられます。

(3) 経費削減・抑制対策

○業務量・業務内容を考慮し適正な職員配置を行います。

平成21年度

○現業職については退職補充を行わず、臨時職員・嘱託員または委託化で対応していきます。

平成21年度

○診断群分類包括評価（DPC）（※）の導入により、ジェネリック医薬品（後発医薬品）等の採用を推進し、薬品費や診療材料費の削減につなげていきます。

平成21年度以降

【用語解説】※「診断群分類包括評価（DPC）」とは、医療費の定額支払制度に使われる評価方法で、患者の病気（診断群分類）によって診療報酬が決まる制度

(4) 収入増加・確保対策

〔社会保険紀南病院〕

○脳神経外科をはじめとする、縮小・休止となった診療科の常勤医を確保し再開を目指します。

（入院時医学管理料加算の算定につなげる）

○地域の医療機関との連携をより深めることにより、紹介率・逆紹介率のアップにつなげ、地域医療支援病院の認定を目指します。

〔紀南こころの医療センター〕

○精神科常勤医師の定数を安定的に満たすことにより、入院・外来患者数を確保し、数値目標を達成します。

(5) その他

○保健行政との連携の下、疾病予防や健康づくり活動を展開していきます。

○職員研修を積極的に推し進め、認定看護師など専門性を持った職員を育成します。

○初期研修医、後期研修医の獲得・受入れを強化し、研修医の安定的確保につなげます。

(6) 病床数等の抜本の見直し、施設の増改築計画の状況

○社会保険紀南病院、紀南こころの医療センターともに病床数の見直しや増改築の計画はありません。

5. 収支計画

○計画期間中の年度別収支の見込みは、（別表6～11）P.14～P.19のとおりです。

V 再編・ネットワーク化に係る計画

1. 二次保健医療圏の現況

(1) 田辺保健医療圏の概要

区 域	田辺市、みなべ町、白浜町、上富田町、すさみ町	
人 口	140,389 人 (17年 国勢調査)	
面 積	1580.24 平方キロメートル	
病 床 数	2,046床	※公立紀南病院組合610床
(一 般)	(1,156床)	※社会保険紀南病院352床
(療 養)	(632床)	
(感 染)	(4床)	※社会保険紀南病院4床
(精 神)	(254床)	※紀南こころの医療センター254床

(2) 二次保健医療圏地図



(3) 田辺保健医療圏内の医療施設の状況

(単位：床)

医療機関名	一般	療養	感染症	精神	合計
社会保険紀南病院	352		4		356
紀南こころの医療センター				254	254
南和歌山医療センター	316				316
国保すさみ病院	48	24			72
南紀福祉センター附属病院	64				64
白浜はまゆう病院	82	188			270
田辺中央病院	90	50			140
玉置病院	34	122			156
白浜小南病院	23	177			200
診療所 (17施設)	147	71			218
合計	1,156	632	4	254	2,046

2. 和歌山県医療計画等における今後の方向性

○限られた医療資源を効率的・効果的に活用するとともに、公立病院が本来有する機能を効果的に発揮できる環境づくりを行うことが必要となります。

○県内でも、拠点病院の配置状況や地理的特性等地域に応じて状況が異なることから、それぞれの地域に応じた形で医療機関相互の機能分担と医療連携を進めていきます。

3. 社会保険紀南病院と地域医療機関との連携

(1) 地域の民間医療機関との連携

平成14年4月に地域医療連携室を設置し、紹介による予約診療を行い、また相互の診療情報提供書等で、医療情報を共有してきましたが、更なる共有、連携を深めるため、平成17年11月より、登録医制度を導入しました。現在89名の地域の医師が登録し、登録医には、パスワードを発行し、登録医室において当院の電子カルテの閲覧が可能となり、医療情報の共有が一層進んだものになっています。また、当院主催又は共催の学術講演会や臨床病理検討会及び症例検討会などにも参加が可能となっています。

更に、地域医療の充実に貢献するものとして、地域医療機関からの放射線検査（CTやMRI、シンチ等）や生理検査等の依頼検査を受託しており、専門の放射線科医師による読影は、地域医療機関の診療をより確実なものにするための手助けとなっています。

また、救急医療においては、地域医療機関と当院救急部とのホットラインを開設、より迅速な対応を可能にしており、緊急を要する心臓疾患においては専門医が直接電話にて対応することになっています。

現在、地域医師会に働きかけ、当地域での「地域連携パス」を構築するために、取り組んでいます。開業医も含めた検討会を既に開催しており、今後も協議を重ねてパスを完成させ、患者を中心とした地域完結型医療の実現を目指します。

(2) 南和歌山医療センターとの連携

南和歌山医療センターとは、診療協力体制に関する協定を締結し、定期的な診療派遣（内科・泌尿器科）、手術応援派遣（整形外科）、臨時的な麻酔科医の相互派遣を行っていますが、今後もこの関係を維持、発展できるよう協議を進めていきます。

(3) 国保すさみ病院との連携

国保すさみ病院とは検査の受託や患者紹介の受入れ、臨時的な手術応援派遣を行っています。

VI 経営形態の見直しに係る計画

1. 経営形態見直しの必要性

現在、当組合では病院事業を「地方公営企業法の一部適用（※）」（以下「一部適用」）という経営形態により運営しておりますが、強力に経営改善を進めるためには、病院事業を独立した組織とし、その権限と責任を明確にする必要があります。

経営改善のための一手法として、経営効率化のための種々の施策のみならず、経営形態自体を見直す必要があります。

【用語解説】※「地方公営企業法の一部適用」

地方公営企業法は、市や一部組合が経営する病院事業、水道事業などは市や一部組合が経営する「企業」であり、地方自治法、地方財政法などの規制を受けていたのでは、企業として能率的、機動的運営が期待できないことから、これらの法律に代わる企業の実態に即した法制度として昭和27年に制定されています。

病院事業については、同法のすべての規定ではなく、主として「財務」に関する規定に限り法定で適用されることとなっておりますが、このように市長や管理者をトップとする組織の中の1部門のままで、同法の財務規定等のみが適用となっている経営形態を「地方公営企業法の一部適用」といいます。

2. 経営形態見直しに係る選択肢

経営形態見直しに係る選択肢として、

- ①地方公営企業法の全部適用（※）（以下「全適」）
 - ②非公務員型の地方独立行政法人化
 - ③指定管理者制度
- などがあります。

【用語解説】※「地方公営企業法の全部適用」

1. で述べたとおり、現在、当組合病院事業は一部適用という経営形態で運営されており、地方公営企業法の財務規定等が適用されています。これに加えて、組合議会の議決に基づき制定する条例に定めるところにより、同法の「組織」に関する規定や「職員の身分取扱」に関する規定などを新たに適用させることとする経営形態が「地方公営企業法の全部適用」です。

一部適用の場合の経営者は管理者ですが、全適の導入により、新たに病院経営の責任者として病院事業管理者が設置され、人事・予算などの広範な権限が付与されますので、診療報酬改定に沿った病院事業内の組織の見直しや人員配置、多様な勤務形態の設定による医療スタッフの確保など、その柔軟性や迅速性の向上によって、より医療現場の実情に即した経営が可能になります。

ただし、職員定数は条例で定めなければならないという制約は依然として残ることとなり、ガイドラインにおいても、経営の自由度拡大の範囲は地方独立行政法人化の場合に比べて限定的であるという指摘がされています。なお、身分は地方公務員のままで変わりありません。

3. 公立紀南病院組合病院事業における経営形態見直しの方向性

当組合の経営形態見直しの方向性については

- ①地方公営企業法の全部適用
- ②非公務員型の地方独立行政法人化
- ③指定管理者制度

の3つを選択肢として、数値目標の達成状況を見ながら検討・協議を開始し、最善の経営形態を選択、導入していくこととします。

VII 改革プランの進捗状況の点検・評価・公表等

1. 点検・評価・公表等の体制

公立紀南病院組合において点検・評価を行った後、公立紀南病院組合議会に公表し、改めて点検・評価を受けます。

2. 点検評価の時期

10月

救急自動車搬送状況(人)

(別表1)

19年	田辺市消防本部	白浜町消防本部	日高広域消防本部 (南部出張所)	合計
社会保険紀南病院	2,102	328	272	2,702 (37.6%)
南和歌山医療センター	1,853	600	137	2,590 (36.1%)
田辺中央病院	289	7	37	333 (4.6%)
玉置病院	186	10	33	229 (3.2%)
その他の医療機関	344	903	79	1,326 (18.5%)
合計	4,774	1,848	558	7,180 (100.0%)

ドクターヘリ等による搬送状況

(別表2)

種別	回数
ドクターヘリ等による救急患者受入れ	H18年度6回、H19年度3回
洋上救急の受入れ、訓練	H17年度1回、H20年度1回(訓練年1回実施)
新生児搬送用車両による搬送	H18年度5回、H19年度6回

時間外・休日の患者受入れ状況(人)

(別表3)

	17年度	18年度	19年度
社会保険紀南病院	11,222	12,331	11,027
紀南こころの医療センター	655	876	1,395
合計	11,877	13,207	12,422

周産期医療(人)

(別表4)

NICU入室実人数	17年度	18年度	19年度
社会保険紀南病院出産ベビー	53	112	199
他施設出産ベビー	22	20	16
合計	75	132	215

NICU入室延人数	17年度	18年度	19年度
社会保険紀南病院	1,429	1,644	2,409

※NICUへの入室基準は、35週以下若しくは2000g以下のベビー

分娩件数(件)

(別表5)

	17年度	18年度	19年度
分娩件数	482	761	878
うち未熟児数(再掲)	(77)	(169)	(216)

※未熟児は2500g以下のベビー

(別表6)

公立紀南病院組合 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

区分		年度								
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
取 入	1. 医 業 収 益 a	9,418,702	9,737,092	9,889,073	10,275,599	10,189,275	10,208,937	10,189,275	10,189,275	
	(1) 料 金 収 入	8,915,816	9,204,048	9,358,266	9,735,488	9,630,687	9,650,349	9,630,687	9,630,687	
	(2) そ の 他	502,886	533,044	530,807	540,111	558,588	558,588	558,588	558,588	
	うち他会計負担金	49,660	49,660	49,660	75,200	75,200	75,200	75,200	75,200	
	2. 医 業 外 収 益	768,894	837,573	774,443	808,169	887,173	859,970	858,303	849,619	
	(1) 他会計負担金・補助金	663,099	714,013	613,568	682,750	723,349	696,146	694,479	685,795	
	(2) 国(県)補助金	53,053	61,122	61,112	45,787	61,122	61,122	61,122	61,122	
	(3) そ の 他	52,742	62,438	99,763	79,632	102,702	102,702	102,702	102,702	
	経 常 収 益 (A)	10,187,596	10,574,665	10,663,516	11,083,768	11,076,448	11,068,907	11,047,578	11,038,894	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	11,172,314	10,792,762	10,997,511	11,198,925	10,907,836	10,589,847	10,583,976	10,589,221
(1) 職 員 給 与 費 c		5,529,892	5,766,243	5,909,042	6,108,530	6,135,655	6,138,017	6,145,954	6,158,160	
(2) 材 料 費		2,551,241	2,536,265	2,551,684	2,562,005	2,460,620	2,465,662	2,460,620	2,460,620	
(3) 経 費		1,621,629	1,610,839	1,672,729	1,742,765	1,648,415	1,668,115	1,672,915	1,683,015	
(4) 減 価 償 却 費		826,266	811,974	808,747	732,907	605,946	260,853	247,287	230,226	
(5) そ の 他		643,286	67,441	55,309	52,718	57,200	57,200	57,200	57,200	
2. 医 業 外 費 用		482,629	469,513	464,981	501,314	454,223	447,176	440,271	433,659	
(1) 支 払 利 息		202,090	190,019	140,208	140,277	130,186	123,139	116,234	109,622	
(2) そ の 他		280,539	279,494	324,773	361,037	324,037	324,037	324,037	324,037	
経 常 費 用 (B)		11,654,943	11,262,275	11,462,492	11,700,239	11,362,059	11,037,023	11,024,247	11,022,880	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-1,467,347	-687,610	-798,976	-616,471	-285,611	31,884	23,331	16,014		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)									
	2. 特 別 損 失 (E)									
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)									
純 損 益 (C)+(F)	-1,467,347	-687,610	-798,976	-616,471	-285,611	31,884	23,331	16,014		
累 積 欠 損 金 (G)	4,290,476	4,978,086	5,777,062	6,393,533	6,679,144	6,647,260	6,623,929	6,607,915		
不 良 債 務	流 動 資 産 (7)	1,809,569	1,628,706	1,680,000	1,780,000	1,780,000	1,780,000	1,780,000	1,780,000	
	流 動 負 債 (i)	1,655,165	1,531,510	1,529,000	1,679,000	1,529,000	1,429,000	1,379,000	1,329,000	
	うち一時借入金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,150,000	1,000,000	900,000	850,000	800,000	
	翌年度繰越財源(ウ)									
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)									
	不 良 債 務 (オ)									
	差引 { (イ)-(エ) } -(ア)-(ウ) (オ)	-154,404	-97,196	-151,000	-101,000	-251,000	-351,000	-401,000	-451,000	
単年度資金不足額	510,626	57,208	-53,804	50,000	-150,000	-100,000	-50,000	-50,000		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	87.4	93.9	93.0	94.7	97.5	100.3	100.2	100.1		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-1.6	-1.0	-1.5	-1.0	-2.5	-3.4	-3.9	-4.4		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.3	90.2	89.9	91.8	93.4	96.4	96.3	96.2		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	58.7	59.2	59.8	59.4	60.2	60.1	60.3	60.4		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)										
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	82.1	85.9	87.4	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5		

(別表7)

公立紀南病院組合 収支計画 (資本的収支)

(単位：千円、%)

区分		年度								
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
収 入	1. 企業債	15,000	637,600	15,000	792,000	20,000	60,000	60,000	60,000	
	2. 他会計出資金	1,212,562	1,229,531	1,267,387	1,324,370	377,793	426,832	387,131	381,873	
	3. 他会計負担金									
	4. 他会計借入金									
	5. 他会計補助金									
	6. 国(県)補助金			16,851						
	7. その他	20,791	9,895	12,035	14,380	10,000	10,000	10,000	10,000	
	収入計 (a)	1,248,353	1,877,026	1,311,273	2,130,750	407,793	496,832	457,131	451,873	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)									
	前年度許可債で当年度借入分 (c)									
純計(a)-(b)+(c) (A)	1,248,353	1,877,026	1,311,273	2,130,750	407,793	496,832	457,131	451,873		
支 出	1. 建設改良費	21,374	21,214	38,167	798,456	24,000	72,000	72,000	72,000	
	2. 企業債償還金	1,444,481	2,024,445	1,428,415	1,476,663	439,432	524,214	486,345	487,818	
	3. 他会計長期借入金返還金									
	4. その他	13,320	14,610	14,760	20,280	10,000	10,000	10,000	10,000	
	支出計 (B)	1,479,175	2,060,269	1,481,342	2,295,399	473,432	606,214	568,345	569,818	
差引不足額 (B)-(A) (C)	230,822	183,243	170,069	164,649	65,639	109,382	111,214	117,945		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	230,822	183,243	170,069	164,649	65,639	109,382	111,214	117,945	
	2. 利益剰余金処分量									
	3. 繰越工事資金									
	4. その他									
計 (D)	230,822	183,243	170,069	164,649	65,639	109,382	111,214	117,945		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)										
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)										
実質財源不足額 (E)-(F)										

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収益的収支	(69,714)	(82,782)	(65,395)	(61,045)	(57,122)	(55,356)	(53,559)	(51,902)
資本的収支	712,759	763,673	663,228	757,950	798,549	771,346	769,679	760,995
	(436,606)	(486,585)	(508,577)	(531,652)	(104,052)	(105,817)	(91,972)	(87,976)
	1,212,562	1,229,531	1,267,387	1,324,370	377,793	426,832	387,131	381,873
合計	(506,320)	(569,367)	(573,972)	(592,697)	(161,174)	(161,173)	(145,531)	(139,878)
	1,925,321	1,993,204	1,930,615	2,082,320	1,176,342	1,198,178	1,156,810	1,142,868

(注)：()内はうち基準外繰入額

(別表8)

社会保険紀南病院 収支計画 (収益的収支)

(単位：千円、%)

区分		年度								
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
収 入	1. 医 業 収 益 a	8,002,170	8,293,602	8,385,190	8,683,350	8,630,062	8,646,754	8,630,062	8,630,062	
	(1) 料 金 収 入	7,504,357	7,767,946	7,862,640	8,151,497	8,078,862	8,095,554	8,078,862	8,078,862	
	(2) そ の 他	497,813	525,656	522,550	531,853	551,200	551,200	551,200	551,200	
	うち他会計負担金	49,660	49,660	49,660	75,200	75,200	75,200	75,200	75,200	
	2. 医 業 外 収 益	389,677	462,163	466,506	474,427	555,941	530,119	525,099	517,832	
	(1) 他会計負担金・補助金	311,833	366,731	333,185	378,283	420,245	394,423	389,403	382,136	
	(2) 国(県)補助金	38,323	45,364	45,364	30,014	45,364	45,364	45,364	45,364	
	(3) そ の 他	39,521	50,068	87,957	66,130	90,332	90,332	90,332	90,332	
	経 常 収 益 (A)	8,391,847	8,755,765	8,851,696	9,157,777	9,186,003	9,176,873	9,155,161	9,147,894	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	9,353,980	9,061,060	9,192,284	9,334,293	9,149,871	8,835,856	8,826,549	8,849,731
(1) 職 員 給 与 費 c		4,270,215	4,593,614	4,708,925	4,860,960	4,932,726	4,941,244	4,944,944	4,975,622	
(2) 材 料 費		2,285,070	2,243,256	2,228,155	2,238,680	2,181,292	2,185,799	2,181,292	2,181,292	
(3) 経 費		1,374,404	1,389,346	1,434,862	1,491,678	1,413,173	1,430,373	1,434,873	1,447,373	
(4) 減 価 償 却 費		785,011	771,050	768,269	693,399	569,180	224,940	211,940	191,944	
(5) そ の 他		639,280	63,794	52,073	49,576	53,500	53,500	53,500	53,500	
2. 医 業 外 費 用		401,112	391,978	430,920	462,936	417,208	411,542	406,036	400,841	
(1) 支 払 利 息		146,932	140,759	132,409	133,863	125,135	119,469	113,963	108,768	
(2) そ の 他		254,180	251,219	298,511	329,073	292,073	292,073	292,073	292,073	
経 常 費 用 (B)		9,755,092	9,453,038	9,623,204	9,797,229	9,567,079	9,247,398	9,232,585	9,250,572	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-1,363,245	-697,273	-771,508	-639,452	-381,076	-70,525	-77,424	-102,678		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)									
	2. 特 別 損 失 (E)									
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)									
純 損 益 (C)+(F)	-1,363,245	-697,273	-771,508	-639,452	-381,076	-70,525	-77,424	-102,678		
累 積 欠 損 金 (G)	4,186,374	4,883,647	5,655,155	6,294,607	6,675,683	6,746,208	6,823,632	6,926,310		
不 良 債 務	流 動 資 産 (7)	1,453,750	1,262,088	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	
	流 動 負 債 (4)	1,576,326	1,492,531	1,490,000	1,640,000	1,540,000	1,490,000	1,440,000	1,440,000	
	うち一時借入金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,150,000	1,050,000	1,000,000	950,000	950,000	
	翌年度繰越財源(7)									
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (イ)									
差引 不 良 債 務 (ウ)										
{(イ)-(エ)} -{(ウ)-(ウ)}	122,576	230,443	230,000	380,000	280,000	230,000	180,000	180,000		
単年度資金不足額	510,626	107,867	-443	150,000	-100,000	-50,000	-50,000	0		
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	86.0	92.6	92.0	93.5	96.0	99.2	99.2	98.9		
不 良 債 務 比 率 $\frac{(ウ)}{a} \times 100$	1.5	2.8	2.7	4.4	3.2	2.7	2.1	2.1		
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.5	91.5	91.2	93	94.3	97.9	97.8	97.5		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	53.4	55.4	56.2	56	57.2	57.1	57.3	57.7		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)										
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	89.2	88.5	89.3	90.2	90.2	90.2	90.2	90.2		

(別表9)

社会保険紀南病院 収支計画 (資本的収支)

(単位：千円、%)

区分		年度								
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
収 入	1. 企業債	15,000	15,000	15,000	792,000	20,000	60,000	60,000	60,000	
	2. 他会計出資金	1,131,096	1,142,604	1,164,217	1,219,854	270,914	318,572	277,472	287,758	
	3. 他会計負担金									
	4. 他会計借入金									
	5. 他会計補助金									
	6. 国(県)補助金			16,851						
	7. その他	20,791	9,895	12,035	14,380	10,000	10,000	10,000	10,000	
	収入計 (a)	1,166,887	1,167,499	1,208,103	2,026,234	300,914	388,572	347,472	357,758	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)									
	前年度許可債で当年度借入分 (c)									
純計(a)-(b)+(c) (A)	1,166,887	1,167,499	1,208,103	2,026,234	300,914	388,572	347,472	357,758		
支 出	1. 建設改良費	20,324	21,019	38,167	798,456	22,000	70,000	70,000	70,000	
	2. 企業債償還金	1,363,550	1,314,922	1,325,244	1,372,146	333,553	416,954	377,686	394,703	
	3. 他会計長期借入金返還金									
	4. その他	13,320	14,610	14,760	20,280	10,000	10,000	10,000	10,000	
	支出計 (B)	1,397,194	1,350,551	1,378,171	2,190,882	365,553	496,954	457,686	474,703	
差引不足額 (B)-(A) (C)	230,307	183,052	170,068	164,648	64,639	108,382	110,214	116,945		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	230,307	183,052	170,068	164,648	64,639	108,382	110,214	116,945	
	2. 利益剰余金処分量									
	3. 繰越工事資金									
	4. その他									
	計 (D)	230,307	183,052	170,068	164,648	64,639	108,382	110,214	116,945	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)										
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)										
実質財源不足額 (E)-(F)										

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収益的収支	(51,328)	(66,362)	(62,795)	(58,907)	(55,438)	(54,133)	(52,802)	(51,617)
	361,493	416,391	382,845	453,483	495,445	469,623	464,603	457,336
資本的収支	(409,629)	(457,642)	(474,187)	(496,813)	(68,759)	(70,063)	(55,752)	(56,938)
	1,131,096	1,142,604	1,164,217	1,219,854	270,914	318,572	277,472	287,758
合計	(460,957)	(524,004)	(536,982)	(555,720)	(124,197)	(124,196)	(108,554)	(108,555)
	1,492,589	1,558,995	1,547,062	1,673,337	766,359	788,195	742,075	745,094

(注)：()内はうち基準外繰入額

(別表10)

紀南こころの医療センター 収支計画 (収益的収支)

(単位：千円、%)

区分		年度								
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,416,532	1,443,490	1,503,883	1,592,249	1,559,213	1,562,183	1,559,213	1,559,213	
	(1) 料 金 収 入	1,411,459	1,436,102	1,495,626	1,583,991	1,551,825	1,554,795	1,551,825	1,551,825	
	(2) そ の 他	5,073	7,388	8,257	8,258	7,388	7,388	7,388	7,388	
	うち他会計負担金									
	2. 医 業 外 収 益	379,217	375,410	307,937	333,742	331,232	329,851	333,204	331,787	
	(1) 他会計負担金・補助金	351,266	347,282	280,383	304,467	303,104	301,723	305,076	303,659	
	(2) 国 (県) 補 助 金	14,730	15,758	15,748	15,773	15,758	15,758	15,758	15,758	
	(3) そ の 他	13,221	12,370	11,806	13,502	12,370	12,370	12,370	12,370	
	経 常 収 益 (A)	1,795,749	1,818,900	1,811,820	1,925,991	1,890,445	1,892,034	1,892,417	1,891,000	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	1,818,334	1,731,702	1,805,227	1,864,632	1,757,965	1,753,991	1,757,427	1,739,490
(1) 職 員 給 与 費 c		1,259,677	1,172,629	1,200,117	1,247,570	1,202,929	1,196,773	1,201,010	1,182,538	
(2) 材 料 費		266,171	293,009	323,529	323,325	279,328	279,863	279,328	279,328	
(3) 経 費		247,225	221,493	237,867	251,087	235,242	237,742	238,042	235,642	
(4) 減 価 償 却 費		41,255	40,924	40,478	39,508	36,766	35,913	35,347	38,282	
(5) そ の 他		4,006	3,647	3,236	3,142	3,700	3,700	3,700	3,700	
2. 医 業 外 費 用		81,517	77,535	34,061	38,378	37,015	35,634	34,235	32,818	
(1) 支 払 利 息		55,158	49,260	7,799	6,414	5,051	3,670	2,271	854	
(2) そ の 他		26,359	28,275	26,262	31,964	31,964	31,964	31,964	31,964	
経 常 費 用 (B)		1,899,851	1,809,237	1,839,288	1,903,010	1,794,980	1,789,625	1,791,662	1,772,308	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-104,102	9,663	-27,468	22,981	95,465	102,409	100,755	118,692		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)									
	2. 特 別 損 失 (E)									
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)									
純 損 益 (C)+(F)	-104,102	9,663	-27,468	22,981	95,465	102,409	100,755	118,692		
累 積 欠 損 金 (G)	104,102	94,439	121,907	98,926	3,461	-98,948	-199,703	-318,395		
不 良 債 務	流 動 資 産 (7)	355,819	366,618	420,000	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000	
	流 動 負 債 (イ)	78,839	38,979	39,000	39,000	-11,000	-61,000	-61,000	-111,000	
	うち一時借入金					-50,000	-100,000	-100,000	-150,000	
	翌年度繰越財源(ウ)									
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)									
	差引 不 良 債 務 (オ)									
	{(イ)-(エ)} -{(ウ)-(ウ)}	-276,980	-327,639	-381,000	-481,000	-531,000	-581,000	-581,000	-631,000	
	単年度資金不足額	0	-50,659	-53,361	-100,000	-50,000	-50,000	0	-50,000	
	経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.5	100.5	98.5	101.2	105.3	105.7	105.6	106.7	
	不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	-19.6	-22.7	-25.3	-30.2	-34.1	-37.2	-37.3	-40.5	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	77.9	83.4	83.3	85.4	88.7	89.1	88.7	89.6		
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	88.9	81.2	79.8	78.4	77.1	76.6	77	75.8		
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)										
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
病 床 利 用 率	74.0	82.3	84.6	88.6	88.6	88.6	88.6	88.6		

(別表11)

紀南こころの医療センター 収支計画 (資本的収支)

(単位：千円、%)

区分		年度							
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
取 入	1. 企業債		622,600						
	2. 他会計出資金	81,466	86,927	103,170	104,516	106,879	108,260	109,659	94,115
	3. 他会計負担金								
	4. 他会計借入金								
	5. 他会計補助金								
	6. 国(県)補助金								
	7. その他								
	収入計 (a)	81,466	709,527	103,170	104,516	106,879	108,260	109,659	94,115
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-(b)+(c) (A)	81,466	709,527	103,170	104,516	106,879	108,260	109,659	94,115	
支 出	1. 建設改良費	1,050	195			2,000	2,000	2,000	2,000
	2. 企業債償還金	80,931	709,523	103,171	104,517	105,879	107,260	108,659	93,115
	3. 他会計長期借入金返還金								
	4. その他								
	支出計 (B)	81,981	709,718	103,171	104,517	107,879	109,260	110,659	95,115
差引不足額 (B)-(A) (C)	515	191	1	1	1,000	1,000	1,000	1,000	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	515	191	1	1	1,000	1,000	1,000	1,000
	2. 利益剰余金処分量								
	3. 繰越工事資金								
	4. その他								
	計 (D)	515	191	1	1	1,000	1,000	1,000	1,000
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)									
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実質財源不足額 (E)-(F)									

一般会計等からの繰入金の見通し

(単位：千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収益的収支	(18,386)	(16,420)	(2,600)	(2,138)	(1,684)	(1,223)	(757)	(285)
	351,266	347,282	280,383	304,467	303,104	301,723	305,076	303,659
資本的収支	(26,977)	(28,943)	(34,390)	(34,839)	(35,293)	(35,754)	(36,220)	(31,038)
	81,466	86,927	103,170	104,516	106,879	108,260	109,659	94,115
合計	(45,363)	(45,363)	(36,990)	(36,977)	(36,977)	(36,977)	(36,977)	(31,323)
	432,732	434,209	383,553	408,983	409,983	409,983	414,735	397,774

(注)：()内はうち基準外繰入額